

留学先：The University of Findlay

氏名： 加藤 裕樹

【はじめに】

4月になり、だんだんと暖かくなってきました。最近では、半袖で過ごすことも多くなってきました（ちなみに半袖短パンで過ごすアメリカ人はたくさんいます）。今月の報告書では、春休み中の旅行の話、そして、毎日の生活に付いて報告していきたいと思います。

【カナダ旅行】

2月の終わりから3月の初旬にかけて、9日間の春休みがありました。その前半に、カナダに旅行してきました。福井大学からカナダのトロントに留学している友達と一緒に、ナイアガラの滝、トロント、そして、1人でモントリオールに行ってきました。事前にインターネットで調べたところ、冬の寒い時期にカナダの東部を旅行するのはシーズンではないとのことでした。しかし、せっかくアメリカの東部にいることに加え、友達がトロントにいるとのこと、旅行を決めました。

ナイアガラの滝は2つ滝がありますが、そのうちの1つがなんと凍っていました。なかなか凍っている滝を見られることはないので、逆にこの時期に行ってもよかったです。ちなみに、息が凍るくらいの極寒でした。

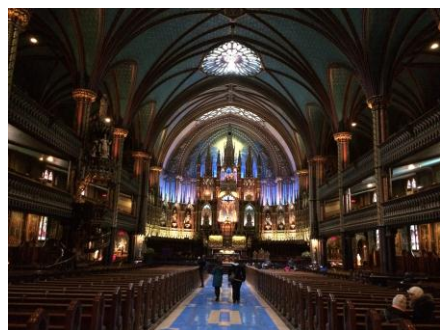


モントリオールは1人で行ったのですが、文化の違いを感じる体験でした。現地の人々はみんなフランス語で話しかけてきます。しかし、私はもちろんフランス語を話せないため、英語で返すと、ほとんどの現地の人たちが英語で話してきます。モントリオールに住むほとんどの人たちがバイリンガルなのです。どちらの言語も流暢に話す彼らを見て、私ももっと英語を頑張らないといけないなという思いにかられました。

モントリオールを一言で表すならば、「荘厳」という言葉がぴったりです。今まで行った年の中でも、いちばん街並みが素敵でしたし、ノートルダム教会は、言葉で表せないような美しさがありました。

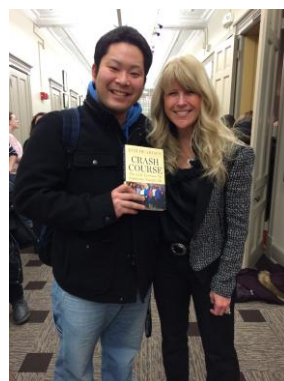
また、1人で旅行すると、現地の人やそこに旅行している人ともたくさん関わることになり、気がつきました。モントリオールで結構有名なバーに1人で行ったのですが、隣に座ってきた男女二人組と仲良くなりました。話していると、その人たちは

アメリカ人の大学生カップルで、春休みを利用してモンリオール旅行にきていたようです。年も近いということで、すぐに仲良くなりました。1人で旅行すると、友達と旅行するのとはまた違う発見があり、勉強になりました。



【毎日の生活】

3月はカナダ旅行の後は、課題も重なり、勉強に没頭した月になりました。その中でも、週末には友達と日本食レストランに行ったり、友達が私の誕生日を祝ってくれたり、忙しい中でも充実した1ヶ月になりました。そして、フィンドレー市とその周辺の地域で働く小中高の先生たちとご飯を食べに行く機会がありました。現職のアメリカ人の先生方とプライベートで関われる機会はあまりないので、ここで知り合ったつながりを大切にしていきたいと思いました。さらには、アメリカで一番とも言われる教育者の講演を聞くことができました。将来自分が先生になったときに、何を子どもたちの伝えたいのか、さらには、どのように教えていきたいのかということについて、改めて考えさせられる素晴らしい講演でした。写真を何枚か貼っておきます。



【まとめ】

この留学ももう残すことあとわずかとなってきてしまいました。人とのつながりを大切にしながら、最後まで楽しんで学んでいきます！では、また来月の報告書で。